東根市立第一中学校　学校だより
One　たった1つの自分の母校
No. 1　2023. 4. 14.
校長　伊藤　裕

今年の重点 “地域で輝く一中生”

新型コロナ感染症に対して様々な規制が緩和されてきています。油断してはいけないのですが例えばマスクの着用も「状況に応じて個人の判断で」とされ、感染の危険性に応じて外せるようになっています。制限されてきた学校のいろいろな活動も、状況を見ながら実施していこうと考えています。始業式で、全校生徒にこうお話ししました。

今年はボランティア活動に力を入れていきましょう。「一中と言えばボランティア」と言われるくらい活発に活動できるといいですね。

そしてその第一弾として募集したのが「ボランティアあいさつ隊」です。新学期１週目は、まだ専門委員会の活動が軌道に乗っていないので、自ら進んであいさつ運動をやってくれる人を募ったのです。その結果、写真の通りたくさんの人が協力してくれました。

「ボランティア（volunteer）」とは「自分から進んで」というのが本来の意味ですから、人に言われたからではなく、当番だからでもなく、自ら進んであいさつ運動に参加してくれた人はこれこそ「ボランティア」と言えます。今年は、こういう活動をできるだけ仕組んでいきますから、「自ら進んで」参加してくれる人を待っています。

第２弾は「さくらんぼマラソン ボランティア」を募集します。この大会は、コロナ前は県外や外国の人も多数参加していた大きな大会です。参加したランナーの中には、ボランティアとして参加した中学生との触れ合いがうれしかったので、中学生宛に感謝のお手紙をくださった方もいました。ランナーと触れ合いながら大会を支えてくれる人を募集していますので、ふるって参加してみてください。

サッカーW杯では、観客席を自発的に清掃する日本人サポーターが世界中で絶賛されました。そういう気持ちを育んでいくのがボランティア活動の意義です。そして、「地域で輝く一中生」これが今年の大きな目標です。せっかく一中生が頑張っているのですから、その姿は校内だけにとどめておくのはもったいないと思っています。一中生が地域で活躍し、そしてその姿が地域で認められ、さらに一中生の成長につながり、やがては世界で活躍する人が現れる、そんな大きな夢を抱きながら、一緒にボランティア活動に頑張りましょう。

裏面に「あそびあランド　ボランティア募集」の案内を載せています。